



「ライン河畔より」

「あなたは生まれ故郷 父の家を離れて わたしが示す地に行きなさい。」

創世記 12章 1節

ホームページ <http://www.ryokosasaki-missionary.com>
ケルン・ボン日本語キリスト教会ホームページ
<http://www.ryokosasaki-missionary.com><http://koelnbonn.jp/>
佐々木良子宣教師ドイツ連絡先
Breslauer Str.26. 50858 Köln Germany Tel : +49 1512910 6278 E-mail: r310130s@yahoo.co.jp



ご挨拶 Guten Tag! 主の聖名を賛美いたします



2020年も2月半ばとなりましたが、いかがお過ごしでしょうか。今年のケルンは暖冬気味でしたが、本来の厳しい寒さが一時続きました。しかし太陽は顔を出し、どんどん陽が長くなり季節は確実に春に向かっていきます。どんなに凍てついた暗い冬でも必ず春はやって来ます。ドイツに来て以来、春の訪れをワクワクしながら待ちわびる気持ちが芽生えました。

昨年も大勢の方々の篤いお祈りと、犠牲をもって多くのご支援を頂き、心から御礼申し上げます。今年もこの誌面やインターネットで配信されている「メールマガジン」を通して、ケルンでの歩みに心寄せてくださると励まされます。時には自分よがりの思いが錯綜し、負のスパイラルに押し潰されそうになりますので、お祈りによるお力添えを頂けると嬉しいです。

春を迎えるとドイツ・ケルンに派遣して頂いてから5年目に入ります。昨年受けた手術も含めて想定外のことが多く、実に感慨深いものがあります。

否、海外生活の経験がない私にとってケルンでの生活は、何も想像することすら出来ない状態でしたから、想定外という言葉は相応しくないかもしれません。しかし、これまでの感謝なこと、一方で強い恵み等の全ての歩みは、イエスさまによって開かれた道であったと確信しています。神の御業がその時宜にあって、日々展開されていますが、これからは、どのように導かれるのでしょうか。

今年、私自身が負うべきもの・果たすべきこと・手離すべきこと・お委ねすべきこと、そして教会が進むべき道等、様々な課題が与えられています。主の御声、聖書の御言葉をお聴きすることに徹底し、祈りの内に主が備えてくださっている道に従って参りたいと願っています。

末筆になりましたが「信徒の友」1月号の日毎の糧の欄に、私たちの教会の紹介と祈りの課題が掲載され、日本全国の教会でお祈りくださり、寄せ書きのお葉書を沢山頂きました。教会の大きな支えとなり心からお礼申し上げます。関わってくださっている全ての方々の上に、主の祝福が豊かにありますように心からお祈りいたします。 **Viel Glück**

支える会の皆様 ケルン・ボン教会の皆様

ドイツ文学者 小塩 節氏



2017年7月2日・礼拝後
先生ご夫妻とともに

たいへん長いことご無沙汰を致しました。2年半病臥しておりましたが、やっと起き上がり、廊下や家の前の道を歩く練習をしています。前向きにともかく「歩く」と、生命を許されたのだな、という実感がこみあげてきます。今も心臓の重い不全と結腸の自律神経障害に悩み、夜も昼も痛烈な腹痛に痛めつけられていますが。しばらくは車椅子で、そして今は杖にすがってゆっくりと礼拝に出席できるようになりました。10年前に悪性リンパ腫瘍に対して手術のあと半年間入院して大量の抗癌剤薬品を投与したことの後遺症です。

佐々木先生から一言の執筆のご依頼がありました1月10日の今日は、私の満89歳の誕生日ですので、心を改めて回復途上のご挨拶、いや、お祈りのお支えへの心からの感謝を申し上げます。思えば34年前、ケルン日本文化会館・館長のつとめをしておりまして、心臓の不調でケルン大学病院に入院したことがありました。それまでの2年半余り、

ドイツと欧州各地に日本文化紹介の講演を150回しており、単身赴任で無茶な仕事の日々を送っていた罰が当たったらしい。厳しく精密な検査と処置の合間に、思いがけぬことにケルン・ボン教会の方々から、お祈りとともに、日本食のお弁当が次々と差し入れられて来ました。真っ白なご飯に赤い梅干し、何よりもふっくらした玉子焼きと色々のつくだ煮！鬼の目にも涙でしたよ。やがて公務を休んで妻が、日本から飛んできてくれました。

このとき、「祈る」こと、「祈っていただくこと」がこんなに力のあるものかと、この日々、そしてそのあとまで実に強く実感したのでした。「このいと小さき者のために」して下さった祈りとお支えは、必ずや主に覚えられる、と実感しました。無事退院したあと、今日この年まで生きて参りました。まだまだ執筆の仕事なども致しましょう。ケルン・ボン教会から今も続くお祈りに応えつつ、ここからも祈りつつ進んで参ります。

佐々木先生もご入院、手術を経験なさり、多くの人のため祈る先生が、多く「祈られ」ましたね。これからも益々お元気です！

※ ケルン・ボン教会に派遣される際、「支える会」を発足するにあたり、日本基督教団から推薦人をどなたかにお願いするようにとのこと、最初に立ち上がってくださった先生です。ドイツに居住するに当たり助言くださり、私が日本へ一時帰国の際は、下宿もさせて頂き家族のように温かく迎えてくださいました。しかし、2017年にドイツにいらして以来、体調を崩され今も痛みとの闘いの中におられますが、教会のため、私のためにお祈り頂いております。ドイツ、そしてケルン・ボン教会をこよなく愛しておられる先生が、弱さを抱えながらも常にドイツの地に心向けてくださっていることは何と力強いことでしょうか。祈られていることを日々ヒシヒシと感じ感謝で一杯です。 佐々木良子

これまでの主な歩み

★大人の分級 10月より開始・第4主日礼拝後30分程度

3~4名程の小グループに分かれて御言葉の分かち合いを始めました。参加者曰く、一方的に御言葉を聴くだけではないので、信仰が深まる機会となる、又、人前で自分の考えを述べるよい訓練になっている、とのこと。できたら礼拝後、毎週行って欲しい！とも。私は教会に集っておられる方々の聖書理解に対して、新たな発見の時となっています。

★第39回バザー 11月1日(祝日)

小雨が降る寒い日でしたが、大勢の方がいらしてくださいました。教会員の方々よりもお手伝いの方々の方が多く、又、今年も前任教会から沢山の献品を頂きました。バザーは主の憐れみと廻りの方々の温かな心の集大成です。

★子ども祝福式 11月17日

お友だちとご両親、9月に生まれたばかりの赤ちゃんもお祖母さまに抱っこされながら、主のお守りを感じつつ子どもたちの成長を祈りました。昨年からはベビーラッシュで、新年早々には双子の男の子も誕生！これからの時代の希望の源です。

★欧州教職者研修会 11月18~23日 南ドイツ リーベンツェラー・ミッション研修保養施設にて

学びと共に先生方と個々の課題を共有できる場でもあります。一日目の夜は近くの温泉でリフレッシュ！私は3年間担わせて頂いた世話役は任期満了となり、ホッとしています。今年からは気楽に参加できるので更に楽しみです。

★転入会式 12月8日 嬉しい神の家族

昨年6月から2時間かけておいでになっている韓国人のご夫妻が、共に信仰の道を歩み出しました。日本人伝道に使命を持っておられ、ゴスペルの指導、ハングル講座等、新しい分野を切り拓いてくださり、教会に活力が与えられています。

★ママの子育ての学び会・読書会 クリスマス会 12月9日

日本に帰国された方、又、新しいメンバーと、出入りの多い会ですが、娘さんの出産のお手伝いにいらしたお母様も参加されました。子育ての悩みは尽きないもので、この会が逃げ場となり大切な役割を担っています。私自身も教えられることが多く感謝です。皆さんパワフルで良くやっているな〜と、私でできることは応援したい気持ちに駆られます。

★子どもと合同のクリスマスページェント礼拝 12月15日

昨年からは始まり2回目となり、老若男女、クリスマスの楽しみとなっています。しかし、今年はお友だち家族の転勤などのために、幼稚園児が中心となるのでマリアさんとヨセフさんはどのようになるのか……。これもまた楽しみです。

★映画会 2020年1月15日 第1回目

今年の教会目標は、気軽に足を運んで頂けるように「開かれた教会」を目指しています。初回は昨年アフガニスタンで亡くなられた中村哲氏の追悼動画「武器ではなく命の水を」上映しました。懐かしい方がおいでくださいました。新しい方がいらっしや、教会が堅苦しい所ではないことを味わってほしいです。

子どもの礼拝・各集会にご家族で出席しておられ日本に帰国されたお母さまより

12月末、5年半のケルンでの赴任生活を終え、いよいよ日本に本帰国します。佐々木先生、教会員の皆様、教会行事で一緒にさせていただいたお友達の皆さん、私たち家族に沢山のお力添えを頂き、本当に有難うございました。

家族が、初めてケルン・ボン日本語キリスト教会にお邪魔したのは、ドイツに来て数ヶ月の時、秋のバザーでした。以来、私は、物品販売やケーキの販売をお手伝いさせていただきましたが、毎年バザーを楽しみにしていらっしゃる地元のドイツの方々との触れ合いや、お手伝いのお友達とのおしゃべり、日本の本や雑貨を購入したり、美味しい手作りの日本食を頂いたり。私たち家族にとっても、楽しみに待つ年間行事の一つとなりました。

3年前に佐々木先生がいらっしやってからは、娘は、一生モノの経験を沢山積みさせていただきました。月に一度の子供礼拝で、季節毎の聖書のお話を聞く事で、ドイツの宗教行事をより深く理解できました。また、旅行先のヨーロッパの国々でも、絵画や彫刻の芸術の中に、聖書の場面を見つけ、たのしむ事ができました。クリスマス会では、キリスト降誕の劇にマリア様役に参加しましたし、何といっても、プロの演奏家の皆さんと一緒に、初心者ながらピアノを弾かせていただくと言う、日本にいたら考えられない幸運な機会を与えていただいた事、娘の人生において正に宝物の経験です。

私自身も、子育て学びの会と読書会と、月に2回、佐々木先生のお宅にお邪魔し、大変有意義な時間を過ごしました。楽しいお茶会の雰囲気でありながら、子育てや人生についてしっかりと考え、お友達の経験を聞いたり、自分の経験を話したりしながら、普段なんとなくしている事を見つめなおし、時に反省し、時に背中を押してもらい、子育ての指針を得る事が出来ました。これから先の娘の反抗期には、この学びがきっと役に立つと信じています。

感謝する事は尽きませんが、他にも、教会に来ると美味しい料理でおもてなししていただいたり、お会いする度に温かい声をかけていただいたり、娘のピアノの発表会に応援に来ていただいたり、いつでも家族の一員の様に迎え入れていただきました。おかげさまで、私たち家族のケルン生活はとても実りある経験となりました。この場をおかりして、家族一同、心よりお礼申し上げます。最後になりましたが、佐々木先生、教会員の皆様、お友達の皆さんの、益々のご活躍を祈念いたしております。



幼児祝福式



転入会式



ママのクリスマス会



ページェント礼拝

ちょこっとコーナー

樅ノ木の行方

ドイツではクリスマスに、一般家庭でも生のモミの木を飾ります。一昨年から私もドイツ式に倣い、ほんのりとした木の香りを楽しんでいます。クリスマスが終わると1月の顕現日後の特別に指定された日に回収され、木はたい肥に生まれ変わります。リサイクル上手なドイツならではの。回収時は細かい針葉が沢山落ちるので、ベランダから庭に投げます。楽しませてもらった木を投げることは、心痛むと共にとても勇気が必要です。私の住まいは4階なので、下に人が通らないことを確認し、個人の庭に落ちないように狙いを定めて「エイッ、ヤー」と投げる技術が必要なので、運動神経のない私には、とても心配になり悩みの種となりました。大袈裟なようですが、私としては前日からドキドキしながら「投げる時、どうぞ下に誰も通りませんように。人の庭に落ちないように」と、お祈りしながらイメージトレーニングをしてから臨みました。お祈りのお陰で無事完了！今年はこのように悩まなくても大丈夫♪ かな・・・!?

※昨年は入院中の為に、後から鋸で解体して葉っぱや枝等の回収日に処分したので、この作業は今年初めての体験でした。

危うく

またまた、クリスマスのお話です。アドヴェントクランツにロウソクを灯して、イエスさまのご降誕を待ち望みますが、今年とはんでもないことに！台所で食事の支度をしていた時に、焦げ臭い匂いがしたと思ったらその後火災報知器が、けたたましく鳴り出したのです。なんと、居間にあったクランツのロウソクの火が、廻りの飾りものに移り、火が出て煙が立ち込めていました。慌ててクランツをベランダに出して水をかけて、事なきを得ましたが、部屋中の煙で火災報知器は鳴り止みません。脚立を出して天井にある報知器を外し、やっと収まりました。火災報知器がなかったら、と思うとゾッとしました。落ち着いてから、報知器を天井につけようと脚立に乗りましたが、足がガクガク……。私は高所恐怖症なのです。その時は夢中で外したのですが、火事場の何とか、とはよく言ったものです。ロウソクには十分な注意が必要だということに改めて学びました。

環境先進国代表・ドイツならではの対策

環境問題に積極的なドイツは、以前から大気汚染対策の為に、車の利用を控え公共機関を利用する事を推奨し、その為の特典を付与しています。今年から更に徹底し、朝・夕方の通勤、通学時間帯にのみ、バスの新しい路線ができました。また、電車運賃の値下げが決定し、更なる電車利用を呼び掛けています。単純な私は値下げに喜んでいますが、何でも直ぐに実行するドイツの政策に感動しています。因みに台所・洗面洗剤も極力化学物質は使わず自然素材のものが大半です。

高いハードルの先に期待して

外国人が集まる会議で、ドイツ語によるショートメッセージを依頼されました。「できない！」ということは容易いですが、廻りの方に助けて頂ければ何とかなる、と思って挑戦することにしました。先ず説教をドイツ語に翻訳して頂き、発音、アクセント等、ドイツ人から数回特訓を受けました。毎朝、ひたすら読み続けること2週間。初めは単語一つ一つに力が入り、内容どころではありませんでしたが、少しずつ文章として理解しながら読めるようになり、どうにか乗り切ることができました！かな？相変わらずドイツ語は苦手ですが「為せば成る、為さねば成らぬ何事も」を体験。勉強する時間がない、できない、ではなくチャレンジしていきたいです。

祈祷会にて

毎月第2日曜日の礼拝後、輪になって祈祷課題に沿って順番に祈ります。2年前のクリスマスから毎週礼拝においてになっている未信者の方が、ある時突然「私もお祈りしたいと思います・・・」と祈り始められ、教会員一同感動しながら「アーメン」と唱和しました。それ以降、毎回祈っておられます。信仰告白には至っていませんが、心に触れるものがあることを実感している、と仰っています。

これからの予定 & 祈祷課題

日本へ一時帰国・宣教報告 お招き有難うございます

お祈りよろしくお願ひいたします

2月28日~4月6日 滞在
 3月1日 志木教会
 4日 仙台青葉荘教会
 8日 喬木教会
 11日 松戸教会
 12日 東京新生教会
 15日 西宮一麦教会
 18日 西宮教会
 20日 こころの友関西地区研修会
 22日 京都復興教会
 24日 日本同盟キリスト教団川奈聖書教会
 26日 浅草教会
 29日 小松川教会 越谷教会
 4月1日 洗足教会
 2日 亀戸教会
 5日 井草教会

1. 佐々木宣教師の健康がこれからも支えられて、主と教会に仕えていけますように
2. これからの教会の歩みを、主はどのように私たちに示してくださるのでしょうか。教会全体として主の御心をお聴きする1年でありますように
3. 今年の教会目標として「開かれた教会」を掲げ、映画会・とハングル講座を始めました。伝道のために用いられますように
4. 子どもの礼拝・ママの子育ての学び会・読書会においてになっている方々が、聖書の御言葉によって励まされています。信仰の道へ繋がるように、聖霊が豊かに働いてくださいますように
5. これまで日本で支えてくださっている方々、教会の上に主の豊かな祝福がありますように

★ 6月22日 ドイツ教会合同礼拝・教会通りのバザー
 ★ 7月30日~8月2日 ヨーロッパキリスト者のつどい

佐々木良子宣教師を支える会 会計報告

主に在ってこの1年、皆様の御加禱とあたたかいご支援を心から感謝いたします。
2019年8月1日～2020年1月31日

収 入	(単位 円)	支 出	(単位 円)
支援献金	1,751,000	宣教師支援金(謝儀補填)	1,433,800
クリスマス献金	143,000	クリスマス支援	365,340
夏期感謝献金	1,000	社会保険料	98,160
感謝献金	5,000	支援金(クリスマス献金)	143,000
ミニバザー売上	184,260	教会感謝献金	60,000
雑収入(受取利息)	14	ニュースレター7号発行	47,480
		ミニバザー費用	87,894
		事務通信費	6,454
		委員会費	3,402
		雑費(振込手数料等)	13,939
		退職手当積立金(3年分)	1,097,000
小 計	2,084,274	小 計	3,356,469
前月繰越	9,883,292	次月繰越	8,611,097
合 計	11,967,566	合 計	11,967,566

献金者 ご芳名(敬称略 五十音順) 2019年8月1日～2020年1月31日

相原美枝子 青池直録 阿部順子 池上恵子 石井泰子 石川 徹 石川真知子 糸魚川喜一 伊藤 愛 伊藤いく子 伊藤君江
 伊藤恵子 伊東みどり 伊藤祐子 伊東理津子 井上 馨 井深裕子 上杉洋子 上杉真子 牛山輝代 内城節子 浦川肇 浦川恵子
 生間元達 江坂宏子 榎本明子 榎本康治 遠藤正一 大熊真弓 大作 寿 大橋 章 大橋久美子 大淵美智子 岡崎 響
 小塩トシ子 越智香歩理 加賀谷則子 鹿郷雄通 片山まどか 桂川信子 金子英市 金坂久子 金田佐久子 金森勝芳 神尾祐美子
 川田裕生 川浪聖志 川浪麻理子 久多良木和夫 久多良木志津子 北野節夫 北野順子 北野 信 北野 拓 木下宣世 木原恵子
 空閑信恵 熊谷千鶴子 黒沢龍吉 黒沢咲子 小泉 誠 小泉眞理 河野有紀 小西妙子 小林興司 小林信夫 小宮房江 佐伯千恵子
 榮 直美 相良佳子 佐久間弘子 佐久間文雄 櫻井淳子 笹本 宏 佐藤節子 佐藤フデ子 佐藤 誠 佐藤保太郎 佐野明子
 澤田 武 澤田直子 澤田大河 澤田拓生 汐碓直美 節利勝 節 清江 篠原照美 島田雅子 嶋 優子 島 隆三 島 静江 嶋本 修
 嶋本洋子 清水 潔 白井 均 白井昭子 神 和子 神保ふみ子 菅谷さと子 鈴木 勇 鈴木 啓 鈴木恵子 鈴木洋史 鈴木敏男
 鈴木信弘 鈴木初子 鈴木優子 春原禎光 曾根邦彦 染野和美 高野加奈子 高橋稔 高橋みどり 高花富夫 瀧田茂子 田島俱子
 田尻可納子 蓼沼百合子 田村久美子 辻浦健久 都築つ彥子 都築英夫 寺村智恵子 鶴巢香穂利 鶴巢和徳 永井美智子 永岡孝子
 長瀬信義 中西美紀子 中村廣子 西海満希子 西村淑子 抜井太一郎 抜井教子 沼 みどり 野村啓二 橋本いずみ 原嶋和夫
 原田時近 原田明子 張谷廷河 張谷麻帆 深沢 修 福田芳雄 藤野洋子 藤本邦彦 藤本幸子 藤本三四四 藤本律子 藤森知子
 藤谷正一 星野 環 細田多恵子 細野紀久子 本田昌義 明瀬真弓 松井美代子 松永映子 松丸香世子 松本幸子 皆川昌子
 宮地多穂子 宮本明実 宮本峯子 宮本容子 南 吉衛 村松紀子 室井信子 物井恵一 物井ますみ 森田聖子 森 浩 森川頌子
 八重樫幸栄 八重樫福子 柳川義也 柳瀬明子 八巻君子 山口スミエ 山口紀子 山崎広子 山下 誠 山田信生 山根芳枝
 山本房枝 横内希久子 横田光江 横山義孝 横山勝よ 吉田陽子 吉本眞理 嘉本 保 和海豊子 若林信子 渡辺敬子 渡辺すみ子
 渡部裕子 和田洋子 匿名1名
 赤羽教会 荒川教会 糸満シーサイドチャペル 亀戸教会 柏教会 京都復興教会 神戸再度筋教会 麦の会 小松川教会・婦人会
 仙台青葉荘教会 清水が丘教会海外宣教会 天門教会 日本キリスト伝道会 ホ群首都圏教師会 三崎町教会
特別献金 石井淑子 潮 純子 北野節夫 北野順子 鈴木優子 山本史子(感謝) 深沢 修 **夏期感謝献金** 辻浦健久
クリスマス献金 菰田とみ子 佐藤 誠 辻浦健久 寺村智恵子 鶴巢香穂利 豊嶋ときわ 藤谷正一 山根芳枝
 清水が丘教会海外宣教会 洗足教会 洗足教会オリーブの会

献 品 (小松川教会ミニバザーのため) 北野順子 シュミット亜弥子 蓼沼百合子 蓼沼 貢 鶴巢香穂利 藤井弘子
 (ケルン・ボン教会のパザールのため) 牛山輝代 小松川教会・婦人会
 (その他) 秋元久恵 北野順子 鈴木優子

お名前が洩れた方がありましたらお知らせください。前回洩れた方のお名前を追記しました。ご容赦ください。

編 集 後 記

今年の東京は暖冬で、平均気温が2度近く高い一方で冬晴れの日が殆どありません。昨年の秋には大型の台風が連続して接近し大雨と大きな被害をもたらしました。神様から頂いた自然を大切にしない私たちが神様が戒めていらっしゃるのか、と思うこの頃です。

昨年の4月から毎月メールマガジンを発信しています。励ましのメールを頂き感謝です。昨年11月に小松川教会で実施したバザーも盛況でした。皆さまのお祈りと愛に支えられた「支える会」の活動であることを改めて感じた1年でした。心より感謝申し上げます。
 財務兼メルマガ担当(香)

佐々木良子宣教師を支える会公式ホームページ

<http://www.ryokosasaki-missionary.com>

ケルン・ボン日本語キリスト教会ホームページ

<http://koelnbonn.jp/>

連絡先 「佐々木良子宣教師を支える会」会長 物井恵一

〒134-0081 東京都江戸川区北葛西 4-3-9・小松川教会内

Tel:03-3869-5261 Fax:03-3869-526

Email: support@ryokosasaki-missionary.com

送金先 郵便振替: 00120-3-450845

銀行口座 三菱UFJ銀行小松川支店 店番463

(普通) 口座 0113856

*上記口座名義: 佐々木良子宣教師を支える会 会長 物井恵一

*定期的月額献金-口 1000円から・随時自由献金

佐々木良子宣教師ドイツ連絡先

Br eslauer Str.26. 50858 Köln Germany

Tel: +49 2234 9298792 +49 1512910 6278

E-mail: r310130s@yahoo.co.jp